

今をときめく まちのあの人に 会いに行く vol. 7

百本邦子さん 乗重文夫さん

共に東広島市出身／西国街道・海田市ガイドの会

公募で歴史好きが参加 西国街道の趣を伝えていく

現

在約15名が活動する「西国街道・海田市ガイドの会」は、海田町がガイドメンバーを公募して誕生しました。当初は30名ほどの応募があったようですが、活動の内容が思いのほか多岐にわたること、仕事をしながらだと活動が困難などの理由で、半数ほどが残ったかたちです。

定例会なども開いているので、時間を作るのが難しい場合もありますが、来れる人が来れる時に参加するスタイル。毎回参加しているメンバーは6名ぐらいだと思います。歴史好きな人が多いため、情報交換したりおしゃべりを交えて楽しく活動しています。(百本)

メンバーの募集があったのが2010年。正式な発足は翌年の2011年4月でしたので、ガイドとしてどのようなコースを案内するか考えたり、パンフレットを制作したりなど、大急ぎで準備を整えました。モニターを募って初めてコースを回ったのが2011年3月。海田町内の方が20～30名参加してくれたのですが、「知らないことがいっぱいあった」「歩いて見て回るのが楽しかった」というような感想をいただき、とても励みになりました。(乗重)

海田町にゆかりのある人を毎月ピックアップし、現在の活動や仕事から、海田町への思いまで深掘りしていきます。

11月号では、西国街道・海田市ガイドの会の会長・百本邦子さんと事務局長・乗重文夫さん取材しました。かつての宿場町海田市の趣を聞かせていただきました。ガイドの会についてくわしくはP16を確認してください。



Profile

ひゃくもと・くにこ／西国街道・海田市ガイドの会会長。結婚を機に海田町に移住、海田町役場職員、教育委員会職員として勤務。町の歴史に精通しており、幅広い知識を生かし、会を牽引し盛り上げている。

のりしげ・ふみお／西国街道・海田市ガイドの会事務局長。会社を退職後、中国新聞で見つけた同会の募集に惹かれ入会。

2人とも海田郷土文化研究会、海田歴史散策会のメンバーとしても活躍する。